

付属品の取付け方

付属品をご確認ください。

□クリップ：1個(本体装着済み)

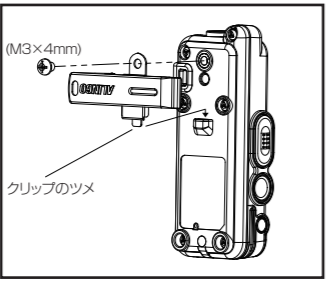
□簡易取扱説明書(本書)：1枚

□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

クリップの取外し/取付け……………

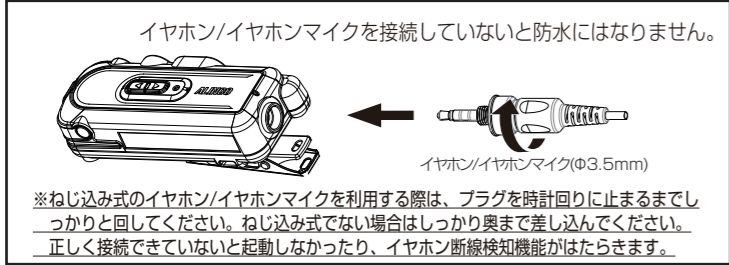
クリップは取付け済みです。取外し/取付けにはプラスドライバー(No.2)が必要です。取付けねじはクリップ部の上にあり、回転させると見えます。取り付けるときは図のようにクリップのツメを先に本体の穴に挿入してください。



注意 標準付属品以外のねじを使うと無線機本体が破損します。規格以外のねじはお使いにならないでください。

重要：お使いになる前に

- 内蔵バッテリー**
内蔵リチウムポリマー電池は出荷時、十分に充電されていません。ご使用前に満充電してください。
- イヤホン/イヤホンマイク接続**
電源を入れる前に弊社製純正オプションのイヤホン/イヤホンマイクを正しく接続してください。接続していないと起動しません。



※ねじ込み式のイヤホン/イヤホンマイクを利用する際は、プラグを時計回りに止まるまでしっかりと回してください。ねじ込み式でない場合はしっかりと奥まで差し込んでください。正しく接続できていないと起動しなかったり、イヤホン断線検知機能がはたらきます。

注意 保管と補充充電について
本機はイヤホン/イヤホンマイクを外して乾燥した冷暗所で保管してください。また、本機に内蔵されているリチウムポリマー電池は適度に充電された状態で保管することが最適で、過充電や過放電状態は劣化を促進します。保管前に一度電源を入れてランプが青色点滅していたら、1時間程度補充充電してから保管してください。しばらく使用しない場合でも定期的に電源を入れて異常がないか点検し、充電量が減っていたら補充充電してください。

各部の名前とはたらき

●前面

内蔵アンテナ

PTT(送信)キー

話す間は押し続けます。離すと受信待ち受けに戻ります。

▲(UP)キー

音量を上げるときに押します。

▼(DOWN)キー

音量を下げるときに押します。

電源キー

約2秒間押して電源をオン/オフします。

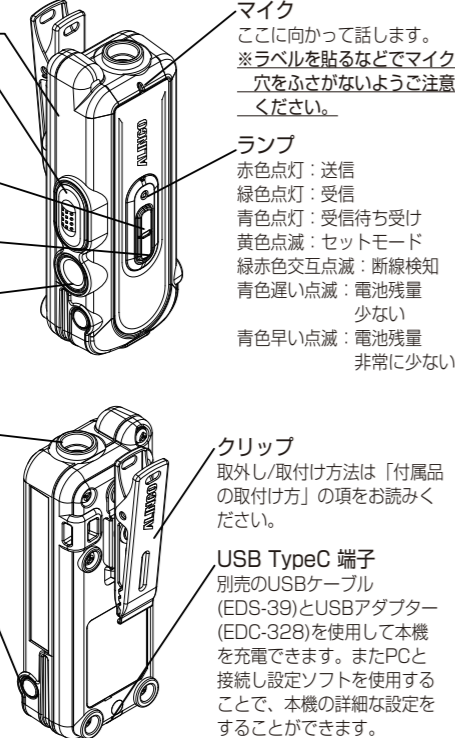
●背面

オプション端子

別売のイヤホン/イヤホンマイクを接続します。汗やしびきでぬれたらこまめに乾拭きしてください。抜き挿しするときに水分が入ると故障します。

充電端子

別売の充電器を使用して、本機を充電できます。充電器に乗せる際に液体や汚れが付いたら取り除いてください。充電不良や故障の原因になります。



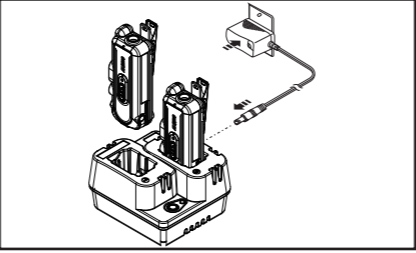
充電器(別売)

別売の充電器を使用して充電する方法を説明します。

- 2口充電スタンド：EDC-345A(ACアダプター付属)
- 10口充電スタンド：EDC-346(ACアダプター別売)

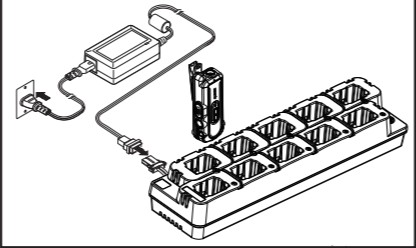
2口充電

- ①ACアダプターの丸プラグを充電器背面の電源端子に接続します。
- ②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
- ③充電が始まると本機のランプが赤色に点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。



10口充電

- ①ACアダプターのソケットを充電器背面の電源プラグに「カチッ」と音がするまで接続します。
- ②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
- ③充電が始まると本機のランプが赤色に点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。



メモ 空のリチウムポリマー電池を満充電するのに要する時間は約4時間です。充電は周囲温度が0℃～+40℃の屋内でおこなってください。充電するときには本機の電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると劣化を促進します。充電が済んだらスタンドから外します。本機および充電器の端子はときどき点検し、汚れを取り除いてください。汚れていると接触不良により正常に充電できないことがあります。清掃と点検をしても充電できないときは販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。

注意 EDC-345A/346を装着して充電している状態では、本機を使用することができません。充電中に本機を操作すると故障の原因になりますので、お止めください。

基本操作

本書では基本的な設定操作のみを記載しています。詳しいカスタマイズ方法は弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。スマートフォンやPCを使う設定方法は次項で説明します。

●音声ガイダンス

チャンネルやグループなどの設定内容を音声ガイダンスでお知らせします。

注意 セットモード「ガイダンス音量」をオフしている場合、音声ガイダンスや操作音は鳴らなくなります。「ガイダンス音量」をオフにしても、セットモードの設定項目はガイドします。

●キー操作

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに離すことを指します。「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

●電源を入れる

電源キーを長押しします。ランプが青色点灯し設定内容を音声でガイドします。イヤホン/イヤホンマイクを接続していないと電源が入りません。電源を切るときも同じ操作で「ブブブ」音が鳴りランプが消灯します。

●イヤホン断線検知

イヤホン/イヤホンマイクを使用中、起動時にランプが赤緑交互点滅したら異常です。プラグを正しく挿入しているか確認し、直らないときは新品に交換してください。

●音量を調整する

ランプが青色点灯時に▲/▼キーを押すと音量調整できます。音量は0～30の31段階で調整できます。キーを押し続けると連続して切り替わります。そのときに鳴る「ピッ」音が音量の目安です。

注意 音量を大きくしすぎると聴力障害の原因となるおそれがあります。小さい音から徐々に上げて調整してください。

●送信する

PTTキーを押すと送信を開始します。話している間は押し続け、話し終わったら離して受信待ち受けに戻ります。送信中はランプが赤色点灯します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ブブブ」と警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。

●呼び出し音(コールトーン)

送信中に▲/▼キーを押すと呼出音(コールトーン)を鳴らして相手の注意をひくことができます。

●受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから受信音が聞こえます。

メモ 本機は受信待ち受け状態で、約5秒間キー操作がないとバッテリーセーブ機能が動作します。本機能動作時に信号を受信すると、通話の初めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

●減電池お知らせ

バッテリーが減るとランプが青色点滅してお知らせします。さらに減ると点滅周期が速くなり「充電してください」とガイドします。本機の電源を切り充電してください。

セットモード

本機の詳細な設定をするときは専用スマートフォンアプリ、もしくは専用PCソフトをご使用ください。本機の操作のみでの設定も可能ですが、液晶がなく設定状態が分かりづらいためです。本体操作のみで設定するのはチャンネルやグループトークなど基本的なものだけにして、詳細はスマートフォンやPCを使用すると簡単です。

●セットモードにする

- ①電源を入れた状態で電源キーを素早く2回押すと、ランプが黄色点滅してセットモードに入り、現在の項目を音声でガイドします。
- ②セットモード中にPTTキーまたは電源キーを押すと、項目が昇順または降順で切り替わり、現在選択している項目と設定値を音声でガイドします。
- ③セットモード中に▲キーまたは▼キーを押すと、その項目の設定値が昇順または降順で切り替わり、設定した設定値を音声でガイドします。
- ④PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯して設定を完了します。

●チャンネル設定

全ての無線機を同じチャンネルに合わせることで、通話できます。

- ①セットモードに入り「通話方式」を選択します。(初期設定：交互通話)
- ②▲/▼キーを押すと通話方式が音声でガイドされます。
- ③セットモード「チャンネル1」を選択します。②で設定した通話方式によって使用できるチャンネルが変わります。
- ④▲/▼キーを押すと、選択したチャンネル番号が音声でガイドされます。
- ⑤PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯し、設定を完了します。

●グループトーク設定機能

グループトーク機能を設定すると、グループ番号が一致した場合にしか受信音が出ません。他のユーザーと混信しやすい場所で設定すると便利です。別機種や他社製の無線機と混用すると、トーン読み取り精度の違いからグループトーク通話ができなくなることがあります。そのときは問題が起きにくい02～37番の間で番号を変えてみてください。

- ①セットモードに入り「グループ1」を選択します。
- ②▲/▼キーを押すと、選択したグループ番号が音声でガイドされます。
- ③PTTキーを長押しする、または無操作1分が経過すると、「ピッ」音が鳴ってランプが青色点灯し、設定を完了します。

メモ ●電源が入っているときに電源キーを1回押すと、現在の通話方式、チャンネル設定、グループ番号を確認できます。
●すでに運用しているグループに本機を導入する場合は、「ACSHモード」を使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。

オプションを利用したセットモードの設定

本機のセットモードの設定は

- ①専用スマートフォンアプリ(以下スマホアプリ)
- ②専用PCソフト(以下PCソフト)

のいずれかを利用して行なうことをお勧めします。スマホアプリを利用する場合は、充電器(EDC-345A/346)と連携して設定します。PCソフトを利用する場合は、USBケーブル(EDS-39)と本機を直接つなぐ、またはUSBケーブルを充電器と接続して設定します。本機は液晶がないため設定状態が把握しにくく、操作が複雑になってしまうため、本体操作での設定はチャンネルやグループトークなど基本的なものだけにし、他のセットモードはスマホアプリもしくはPCソフトをご利用ください。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。

オールリセット

電源を切ります。PTTキー、▲キー、▼キーを全て押したまま電源を入れます。ランプが青色に点灯しても5秒ほど押し続けると、ランプが白色に点灯して、「初期化しました」と音声ガイドでお知らせします。拡張セットモードを含む全ての設定が初期化されます。パトリセットはありません。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	イヤホンを接続していない	イヤホンを接続してください
ランプが点かない	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
受信できない	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
送信できない	相手と距離が離れている	通信距離を目安に送信してください
	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
充電できない	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
	充電電池が劣化している	電池交換を依頼してください

※充電電池の残りが少ないとまれに誤動作することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-345A	2口充電スタンド	(ACアダプター付属)
EDC-346	10口充電スタンド	
EDC-162	ACアダプター	(EDC-346用)
EDS-39	USBケーブル	
EDC-328	USBアダプター	(EDS-39用)
EME-662C	カナル型イヤホン	(ストレートプラグ)
EME-664C	カナル型イヤホン	(ねじ込みプラグ)
EME-682M	耳かけ型イヤホン	(ストレートプラグ)
EME-684M	耳かけ型イヤホン	(ねじ込みプラグ)
EME-32A	イヤホンマイク カナル型	(ケーブル長：約85cm/ねじ込みプラグ)
EME-48A	イヤホンマイク 耳かけ型	(ケーブル長：約85cm/ねじ込みプラグ)

イヤホンケーブル長は全て約50cmです。またEME-48A以外のイヤホンはいずれも断線しにくい業務仕様ツイストケーブルです。

挿し込むだけのストレートと、外れにくいねじ込みプラグがあります。いずれもIP66/67相当ですが、使用前にゆるみがないか必ず点検ください。接続不良による浸水や故障は保証対象外です。

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
	bチャンネル	440.2625～440.3625MHz
		421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz
制御チャンネル	422.1875MHz, 421.8000MHz, 440.2500MHz	
電波形式	F3E (FM)、F1D (FSK)	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上 (8Ω負荷)	
通信方式	単信、半複信、複信	
定格電圧	DC3.7V (リチウムポリマー電池 620mAh)	
消費電流	送信時：65mA (High) 55mA (Low) 受信定格出力時：72mA/バッテリーセーブ時：22mA	
動作温度範囲	-10℃～+50℃ (充電：0℃～+40℃)	
寸法 W×H×D	32.8×80.4×23.3mm (突起物除く)	
質量	約51.3g (内蔵バッテリー、クリップ含む)	
使用時間の目安	交互通話・中継通話：約20時間/連続通話：約12時間 同時通話：約4時間(連続送受信)/2波同時受信：約14時間	

仕様、定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。

メンテナンス

本体とイヤホンは家電清掃用ブラシでほこりを落とし、清潔な乾いた布で乾拭きしてください。防水保証は製品と同じ1年です。特にイヤホンケーブルは汗などでぬれたら乾拭きしてください。水分侵入は基板を腐食して修理できなくなります。汚れたスポンジやゴムは衛生面からも定期的に新品に交換してください。